



またたコン
ミニ交付
サービスの
開始に伴
い、提供
する業務
内容が重
複する行
政サービ
スコーナー
については、
周知期間
等を考慮
した上で

市民目線の施策展開を！ 子育て・教育環境の充実 安全・安心のまちづくり

岡井寿美代 中浜 実 野々上 愛
橋本 紀子 ※平田 裕也 森本 信之
※は発言者

行政サービスコーナー 全廃 今後の展開は

議員 マイナンバーカード交付に伴う各種証明書のコンビニ交付サービスが平成28年12月にスタートし、それを受けて行政サービスコーナーが29年9月に全廃される予定です。この全廃については、市民の利用状況を見ながら慎重に進めることを要望します。その上で、今後の展開を伺います。

29年9月末に全廃することとしました。引き続き、コンビニ交付サービスの周知とマイナンバーカードの普及促進を図っていきます。

市立就学前児童施設の 認定こども園化 正確なニーズの把握を

議員 市立就学前児童施設の認定こども園化への移行推進や園区制の廃止等を検討されています。正確なニーズの把握と子育てに対する切実な要望や意見を的確に受け止めながら進めていくべきと考えますが、見解を伺います。

市長 市立就学前児童施設の在り方に関する基本方針を平成28年9月に策定した経過の中で、多様な意見、要望を踏まえるべく、保護者アンケート等を実施してきました。今後、子どもにとってより良い教育・保育環境を目指すものとして、保護者等へ丁寧な説明に努めていきます。

J R京都線の高架化 具体的な予算等の提示を

議員 富田のまちを分断するJRアンダーや人身事故の多い踏切については、長年議論をされてきました。JR京都線の高架化に関する議論の前提として、具体的な事業計画や予算の提示が必要と考えますが、見解を伺います。

市長 JR京都線の高架化の取り組みは、地域住民の悲願であるJRガード下の課題解消や、課題の多い



▲交通安全等について課題があるJRアンダー

富田村踏切や赤大路踏切の抜本的な対策など、多くの課題が一举に解決できる有効な手法と考えています。そのため、鉄道高架化勉強会を設置しており、今後、事業化の判断要素となる事業費や効果を算出するなど、研究を進めていきます。

三島救命救急センター 移転場所とともに 運営の在り方の検討も

議員 三島救命救急センターの建て替えについては、場所の移転とともに運営の在り方なども一体的に検討すべきと考えますが、見解を伺います。

市長 移転場所については、三島二次医療圏の3市1町（高槻市・茨木市・摂津市・島本町）での検討結果を受け、同センターを運営する公益財団法人大阪府三島救急医療センターの理事会において、移転候補地が大阪医科大学の敷地に決定されました。今後、同大学で移転が承認された場合、